

## 「NEC環境大賞」受賞企業の環境経営事例

## 開発革新 生産革新を機軸とした環境経営の実践

Practice of the Environmental Management on the axis of the Development and Production Innovation

## 第一回（2002年）NEC環境大賞大賞受賞

## NECアクセステクニカ

NEC Access Technica, Ltd.

## NECアクセステクニカの取り組み概要

NECアクセステクニカの環境経営は、開発革新、生産革新を機軸に「循環させる製品開発」「クリーンな調達」「ムダ“廃除”の生産」を環境活動方針として、取引先、NECの研究所や事業部との連携、また社内においては購買、開発、製造部門の強い連携により、環境のサプライチェーンマネジメント（SCM）である「自律的に循環する環境システムの構築」をめざしています。

We aim to achieve the environmental SCM (Supply-Chain Management) as the “Establishment of the Self-directed Environmental System for the Recycle-based society” under the Environmental slogan of “Recyclable Products”, “Clean Purchasing (to purchase Environment-friendly products)”, “Waste Elimination Production (efficient production)” on the axis of the development and production innovation in cooperation with suppliers, NEC research laboratory and the related division of NEC and also by the strong partnership among our purchasing, development and production.

## 1. 取り組みの特徴

環境経営のサークル（図）を全社の開発革新、生産革新と連動し、次の取り組みを実施しました。

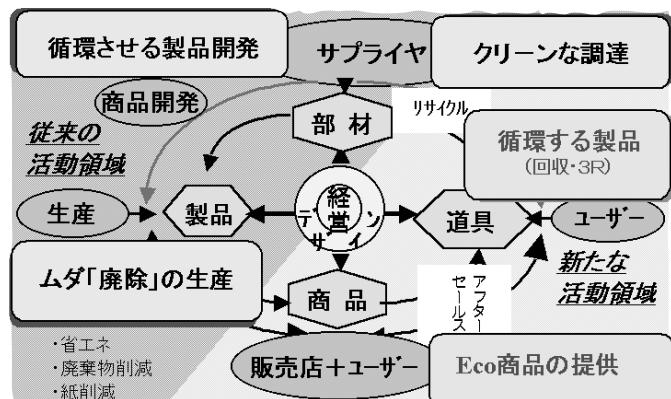


図 自律的に循環する環境システム

Fig. The Self-directed Environmental System for the Recycle-based society.

- (1) 循環させる製品開発/クリーンな調達
  - ① 製品アセスメントやLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）をいち早く採用した開発プロセスの改革（環境システム導入・定着）
  - ② 先進的環境技術を他社に先駆け製品適用
  - ③ ISOマネジメントシステムを活用し、環境ラベル（エコマーク、NECエコシンボルマーク表示）の取得促進
- (2) ムダ“廃除”の生産
  - ① 生産革新の省エネ自働化ラインなどによりCO<sub>2</sub>削減
  - ② 部材の調達革新などにより廃棄物を半減

## 2. 具体的な活動内容

- (1) 循環させる製品開発/クリーンな調達

1993年度、NECアクセステクニカはいち早く発泡プラスチック梱包緩衝材をダンボールに切り替える取り組みを開始しました。その後、NECの事業部や環境材料技術研究所と連携し、製品アセスメントの仕組み構築と実施率100%を推進、また世界初として新聞に報道されたISO規格準拠のLCAを適用しました。

さらに環境配慮技術の開発では、取引先との連携で部品製造技術の改善を実施し、エコポリカプラスチック筐体、六価クロムを使用しないクロムレス鋼板の機工部品、リサイクルプラスチック筐体など、次々と世界初または業界初となる環境配慮技術の実用化を図り、「クリーンな調達」を実現しました。その結果、1999年には、液晶モニターがNECのエコシンボル適用第1号製品として認定を受け、また2000年に新設されたPCエコマークでNECアクセステクニカの液晶モニターが認定第1号を取得しました。

また、1999年には、携帯電話でいち早く鉛フリー化を実現し、ファクシミリやAtermの待機電力はLCAにより大幅削減し、省エネ製品のトップランナーを実現しました。

さらにエコ製品の称号となるPCエコマーク、NECのエコシンボルマークなどの環境ラベル取得を主力製品に展開し、なかでもNECエコシンボルの適用比率（取得率）は製品売上高比で約95%にまで至っています。

- (2) ムダ“廃除”の生産

生産革新に連動したエネルギー利用のムダ“廃除”は、電力使用のない自重落下やエアー（空気圧）駆動を活用した省エネ自働化生産ラインを全社に誕生させています。工場フロアにおいても、消灯、蛍光灯の間引き、冷暖房の間欠運転、パソコンの省エネ設定など、全従業員が高い環境意識で徹底した省エネ活動に取り組んでいます。

また廃棄物排出のムダ“廃除”は、調達部品の納品にTPトレーの利用を取引先と連携して実施し、リデュース/リユース化を実現しています。さらに廃棄物は社内で徹底分別を行い、リサイクル資源（有価で売却）として再び別の商品に生まれ変わらせています。

2003年度9月には、このような取り組みが掛川市より高く評価され、「ごみ減量とリサイクル先進モデル事業所」として認定証の授与を受けるとともにその様子が静岡のローカル番組でTV放映されました。

- (3) Eco商品の提供/循環する製品

2003年度には、商品販売事業を行う関連会社をISOマネジメントシステムに組り込み、Eco商品の販売促進と製品回収を目的とした活動をスタートさせました。これは、NECアクセステクニカがめざす「環境経営」の活動方針「自律的に循環する環境システム」の完成に一歩近づいた活動といえます。